

5年生、「自然教室」で学ぶ

5年生が、6月30日(金)から7月1日(土)まで、京都府立青少年海洋センター(マリンピア)にて、1泊2日の「自然教室」に行ってきました。

現地では、雨が降ったり晴れたりと天気がめまぐるしく変わる中、「海リンピック」「カッター」「キャンドルサービス」「ウォークラリー」などの活動を行いました。

「カッター」では、重たい木製のカイをペアで動かし、海上で艇を進めます。最初は思い通りにカイを動かさずに苦勞していましたが、「もっと体をたおして漕ごう」などとアドバイスをし合ったり、「1.2.1.2!」とかけ声をかけたりして、徐々に動きを合わせるコツをつかんでいきました。最後には「うわっ、(艇が)めっちゃ進んでる!」と思わず感嘆の声をあげる子どももおり、疲れている中にも達成感を味わっていました。また、夜の活動「キャンドルサービス」では、事前に練習してきた「ジンギスカン♪」をみんなで歌って踊りました。ひとりひとりが曲調に合わせて思い切り叫び、歌い、体を動かす姿は本当に楽しそうで、子どもたちの熱量に会場が揺れているようでした。

カッター～みんなで息を合わせる「1.2.1.2!」



キャンドルサービス～みんなで叫ぶ!歌う!踊る!～

集団生活の面でも、「生活長」や「食事長」などの役割をしっかりと果たして人の役に立つ喜びを感じたり、「集合時刻に間に合うためにはどうしたらいいか」を考えて仲間と一緒に工夫したりする姿が見られました。

「自然教室」を終えて、「最初は集合時刻を守ることはできなかったけれど、友達が『しおり』を見て教えてくれたおかげでできるようになった」や「自分も意外とがんばることができてうれしかった」や「夜に部屋の友達と色々な話をし、普段は発見できない友達のいいところを見つけられた」などの振り返りからも、子どもたちが一回り成長したことがうかがえました。

1泊2日の「自然教室」、失敗したことにも上手く向き合いつつ頑張り抜いた5年生に、大きな拍手を送りたいと思います。